

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [金沢市立額小学校] 担当教諭名 [吉村 聡太郎] (6年2組 40名)

相手国・地域 [ネパール]

海外学校名 [Sree Tribuvan Adarusya H.S School Syangja] 担当教諭名 [山本 晃司(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢から世界の発展を考える	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	絆、平和
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	「日本とネパール(世界の国々が)いつでも思い合い、助け合い、絆を深めて仲良くする」 「みんなの笑顔や幸せを守るために、争いをしないで平和を続けていこう」



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・ネパールとの交流を通して、児童はネパールや海外の国々への興味・関心をとても高めることができ、海外の時事についての話が授業の中で出てくるなど、グローバルな意識を持てるようになってきた。また、自分達の文化とネパールの文化の比較を通して、相手の国の文化のよさに気付くだけでなく、自分達の文化もよいものだということを再確認し、それらを守っていくためにお互いに交流したり、仲を深めたりし、平和を続けていくことが大切だと考えるようになっていた。	・今回はネパールの通信環境が不安定だったため、スカイプなどを使って、実際に見たり、聞いたりする活動ができなかった。今回の交流でも児童は世界とのつながりを実感することができていたが、スカイプなどの生の映像や声を利用するとより実感を伴った活動になると思った。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
・これまであまり海外の生活や文化について意識したことがなかったようだったが、ネパールの自然の様子や食べ物、いろいろな建造物を紹介してもらったことで、相手の国に対する興味・関心が高まったようである。また、その他の国や地域についても調べてみたいと感じた児童も多かった。	・どちらの国の児童も交流を進めていくと相手の国に対する興味・関心が高まっていたことから、実際に交流を行うことのよさを実感した。児童は自分達の生活している所だけで、物事を考えることが多いが、このような機会に世界の生活や文化に触れることで広い視点で考えることができるようになるのではないかと考えた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月	・自己紹介カードの作成・発送	自己紹介の内容についてよく考え、ネパールの児童に伝わるように日本語を英語に翻訳することに苦労しながらも、熱心に自己紹介カードを作成していた。相手のカードを見たときは、より相手国への興味を深めていた。	総合4
共有 テーマ学習	10月	・自国の文化を発表する(フォーラム) ・交流国の文化を聞く(フォーラム)	自国の文化を紹介したことで、自分達の文化のよさを再確認していた。交流国の文化や生活について紹介してもらったことで、もっと知りたいという気持ちが強くなった。また、文化や生活習慣の違いにも気付き、それぞれの国にそれぞれのよさがあることを理解していた。	総合10
融合 メッセージ 壁画デザイン	11月	・絵に込めたいメッセージを考える ・構図やメッセージを相談して決める ・下書きをする	交流を通していろいろな刺激を受け、世界の国々への意識が高まり、絵に込めたいメッセージや絵に何を描けばよいか積極的に考えていた。また、いろいろな意見の中からよりよい物は何かよく相談していた。	総合6
創造 壁画制作	12月	・彩色して完成させる ・交流国に発送する	自分達の込めた思いが伝わるように丁寧に彩色に取り組んでいた。	総合8
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	・返ってきた絵の鑑賞 ・ふりかえる	戻ってきた絵を鑑賞して、交流やつながりの深まりを実感できていた。ふりかえりでは、もっと多くの国を知りたい、行ってみたいという感想が多く、世界への興味が深まっていた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	自国の生活・文化を調べるときや相手の国の生活・文化を紹介してもらったときに自国の文化のよさや他との違いについて実感していた。
異文化の理解	A	5	相手の生活・文化について紹介してもらった際に、とても興味深そうに話を聞き、さらに詳しく知りたいと質問をよく考えていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	文化や生活について交流する際に、自分達にとってはよく知っていることでも、よく知らない相手にはどう伝えれば分かりやすいかよく考えていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	自国について紹介する際に、相手が分かりやすいように写真や絵を付け加えていた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	3	交流を通して、人間関係を築いていくためには相手のことをよく知ることが大切だということ実感していた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	自国の紹介をする際に、グループで紹介する内容を考えた。また、絵もグループで分担して描いた。みんな、よく協力して取り組んでいた。
学習を追究する意欲	B	4	交流を終えての感想に、ネパールに実際に行ってみてみたい、他の国についてももっと調べてみたいという感想が多く見られた。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	4	個人差はあるが、伝えたいことを言葉や絵で表そうしたり、より伝わりやすいように相談しあっていたりしていた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	4	交流をふり返って、自分達や相手のよさについてよく実感していた。また、交流することでお互いの理解が深まることを実感した感想が多かった。